

Route Navigation

《卒業生の合格者体験報告より》

この春に東中を卒業した生徒は、いろいろと思い悩みながら進路を選択・決定していきました。当初の目標に比べて大幅に進路変更をした人もいます。学力（成績）だけではなく、体験入学や学校説明会に行ったことがきっかけになったケースや高校卒業後のことも踏まえて考えたケースも結構ありました。

3月の進路ガイダンスでも配布しましたが、卒業生の声（受験校が決定するまでの流れ・感想や印象に残っていること）を再掲して紹介したいと思います。



・中学1年生までは普通科の高校を志望していたが、高校卒業後は就職したいと考え、商業科に興味をもった。体験入学を通し、資格を多く取得できる点や求人状況がとても良い点にひかれ、この学校に入学したいと強く思った。

・1、2年生の時は、進路のことにあまり分からなかったし、情報も少なかったけど、3年生になり体験入学に行ったり、高校のホームページを見るなどの回数が増えたので、色々な高校を知ることができてよかったし、自分にあった高校を見つけることができました。

・自分でこの高校へ行きたいと思えば頑張れると思った。まわりの人と相談をして、ゆっくりでも自分の納得のいく進路を決めるべきだと感じた。

・小6の時から目指していた高校があり、中学でもそこを目指してやっていた。しかし、思うように伸びず、考えるようになりました。あきらめると言ったら少し違う気がしますが、「行きたい」だけではどうしようもないので、自分の実力を考えて志望校を変更しました。担任の先生や親に相談しました。行きたい大学と将来の夢が決まっているので、「その夢を叶えるためにはどこが一番がんばれそうか」ということも考えて決めました。部活もやりたかったので、そこも考えました。